

Defense Document 3072-G

Excerpt from State Department Publication  
of Nazi Foreign Office Documents

(Page

Urgent telegram from Ribbentrop  
to Schulenburg, August 16, 1939

The points brought up by Herr Molotoff are in accordance  
with German desires.

Ref Doc No 3042-G

Oshima

并復側文書 中三〇七ニ係 G

國務省之表十々外務省文書抜萃  
(頁)

一九三九年八月十日、リウベントロフが  
レニレンベルグ宛 至るに報

トロツ氏の提議はトイツの事も即至に  
添ふものがある。

私ハ五十四才テ。東京都正田ヶ谷區松原町三丁目一〇三〇番地ニ居住シ  
テ居リマス。

私ハ一九三四年（昭和九年）三月カラ一九三七年（昭和十二年）四月迄  
外務大臣官房人事課長ノ職ニ在リマシタ。外務省官吏ノ敘勳ニ關スル事  
務ハ人事課ノ職務ノ一ツテアリマシタ。

一、滿洲事變ニ關スル外務省員敘勳ノ手續ハ左ノ通りテアリマシタ。先ツ  
賞勳局カラ外務省ニ對シテ外務省ニ割リ宛テラルベキ論功行賞賜金額ノ  
内示ガアリマス。次テ外務省人事課長ハ各般ノ資料ヲ整ヘテ此ノ金額  
ノ範圍内ニア敘勳セラルベキ候補者ヲ選擧シマス。從ツテ實際上ハ勳  
章ノ等級ト致シモ一定ノ限度カアツタノテアリマス。凡テノ勳章ハ賜  
金ヲ給ツテ居マシタ。次テ外務省ハ賞勳局ト交渉シ同局テ外務省員  
ヲ審査シ修正ヲ加ヘテ賞勳局ニテ作り政府ハ之ニ基キ決定スルコトニ  
ナツテ居リマシタ。

二、一九三四年私カ人事課長ニナツテカラ務間モナク一九三一年乃至一九  
三四年ノ間ノ論功行賞ノ審議カ殆マリマシタ。私ハ從來ノ慣例ニ從ヒ  
口頭テ内閣賞勳局トノ交渉ニ由リマシタ。此ノ交渉ハ相當長クカカリ  
又賞勳局ヲシテ外務省側ノ要求ヲ認メサセルタメニハ相當骨ガ折レマ  
シタ。